

春の忘れ物を取りに「目指せ全国制覇！」

～第46回日本少年野球選手権大会西九州支部予選～

6月27日・28日、7月4日、日本少年野球選手権大会西九州支部予選（公財日本少年野球連盟西九州支部主催）が長崎県宮球場で行われ、佐賀東松ボーイズが見事優勝。全国大会への切符を奪取しました。

佐賀東松ボーイズには、多久市から11人の選手が登録し、チームの主力として活躍。春の大会優勝に続く連覇を達成しました。

2回戦からの登場となった佐賀東松ボーイズ。南長崎ボーイズ戦では、6-1と勝利、続く準決勝は4-1で長崎ボーイズを下し決勝に進出し、決勝戦は、同じ佐賀県勢西松ボーイズとの対戦。序盤からヒットと走塁でチャンスを作り確実に点を重ね、投げてはエース柿木蓮投手が、1安打完封し7-0の5回コールド

全員野球で勝ち取った全国への切符

～第32回全日本軟式野球大会九州地区大会～



▲降りしきる雨の中、2試合を好投した原口くん

7月4日・5日、鹿児島市薩摩川内市で行われた第32回全日本軟式野球大会九州地区大会（公財全日本軟式野球連盟主催）で、佐賀県を代表し出場した中央校中学部の野球部が優勝し、12年ぶりとなる全国大会出場を決めました。初戦となった熊本県代表西山中学校との対戦では雨の影響か、2回に1点を先制されたものの、4回にフォアボールを足がかりに巧みな戦術で3点を取り逆転。その後もエース原口倫和くんが、相手打線を抑え3-1で勝ちあがりました。

5日に行われた準決勝は、福岡県代表板橋中学校との対戦。雨が降りしきる悪コンディションの中、

で優勝を決めました。

全国大会は8月2日から大阪府で行われます。春の初戦敗退の借りを返すと意気込む選手たち。夏の大会で「リベンジ」してくれることを期待します。みなさんの応援をお願いします！



▲優勝を決め監督を胸上げる選手たち



▲多久市から登録している選手のみなさん

2回に久保和樹くんのタイムリーで1点を先制。4回に同点に追いつかれたものの、そのまま1-1で進み、延長戦タイブレーク（ノーアウト満塁）に。3点を取り、相手の攻撃を1点に抑え、勝利しました。その日に行われる予定の長崎県代表日野中学校との決勝戦は、降り続く雨が更に強くなり中止が決定。両校優勝で幕を閉じました。「全国大会では失点を少なく、少ないチャンスをものにして初戦突破を目指します」と平野友次監督。全国大会は、8月10日～13日に神奈川県横浜スタジアムで行われます。みなさんの応援をお願いします！



▲準決勝の勝利を喜ぶ選手たち

市長コラム

| 温 | 故 | 創 | 新 |

Message for citizen

「九死に一生を得ました」の手紙

市長 横尾俊彦

猛暑続きで体調がおかしくなりがちです。そんな体験をされた方からお手紙を頂きました。散歩がてらに出かけた買物の最中に不調を感じられました。最初は眩暈（めまい）。「これはいけない」とレジを済ませ、外のベンチで休憩。すると次は物凄い吐気、さらに意識も朦朧（もろろ）となってきたそうです。危険な兆候です。

そこで、タクシーを呼ぼうか救急車を頼もうかと必死の思いでいたところに「具合が悪いのではないですか」と声をかけて下さるご夫婦がいらっしやいました。そして「ついでですから」と車をベンチに寄せ、車で送って下さったのでした。その後、手当てを受けて元氣になりました。

「あのまま氣を失っていたら駄目だったかも」「九死に一生を得た思いです」ともありました。

元氣になったけれど「御礼を申し上げたいとの感謝の念が増すばかり」とのこと。御名前を聴いていないけれど、「お陰様で元氣に毎日幸せに過ごして居ります」と伝えたいと手紙にあります。

思えば、一見変化のない日常のさりげない日々がこのような感謝に堪えない瞬間があります。

本稿を見て下さっていたら、私からも御礼を申し添えたいと思います。ありがとうございます。

そのようなあなたがい心、ずっと手を差し伸べる行動力をお互いに持ちたいものです。

暑さもまだ続きます。睡眠、栄養、水分などに留意して夏を越え、実りの季節へ進みましょう。